

協力隊がゆく 55

こんにちは、有漢地域
担当の西垣です。

緊急事態宣言などの影響で例年通りのイベントや賑わいが少ない中、いつの間にか金木屋が香り始めました。季節の境目は得てして曖昧ですが、僕はこの香りがすると「夏も終わったんだな」と感じさせられます。

そして、春から有漢町のブドウ農家さんからブドウ栽培について勉強させていただいていましたが、ついに待ちに待った収穫の時期を迎えることができました。立派に実ったピオーネや瀬戸ジャイアンツをチョコキンチョコキンと枝から収穫する作業は楽しい反面、房がなくなった木々を見て寂し



西垣陽平 隊員

さを覚える瞬間もあります。まだ一年目ですが、一年を通して見守ったブドウが成長し、さらにおいしいと喜んでもらえることは、何物にも代え難い生きがいになると自信を持って伝えることができるようになったと思います。

また、JA晴れの国岡山ぶどう部会有漢支部のご協力の下、有漢町のブドウ農家の皆さんにアンケートを行い、営農状況や事業継続の意思を確認する取り組みを始めました。高齢化が進む中で、規模を縮小しようと考えている農家から若手農家や新規就農者への圃場の引き継ぎや貸し借りを円滑に行うためのデータベースを作ることが目的です。アンケートで集まった情報は、JA・高梁市・NPO法人・農業普及指導センターなどと共有し、農地確保と移住者確保の両面で活用できれば、就農・移住希望者への支援がさらに効果的になると考えています。最終的にはそれらの情報を地図に落とし込み、立地が見やすい形で住まいや周りの環境と一緒に紹介できるようにする予定です。



有漢町のブドウ農家にアンケート調査を実施

「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— 14

日本遺産に認定された『「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—』のストーリーを構成する文化財を紹介します。

「黄金山城跡」 未指定記念物(遺跡地)

黄金山城(小金山城)は、戦国時代の永禄年間(1558～1569年)に吉岡銅山を支配下においた出雲の戦国大名・尼子氏が、吹屋下谷にある黄金山に築いた山城です。当地は、吹屋への入り口と往來を見据える要衝にあたり、標高約500mの山頂から尾根上には、現在でも曲輪や土塁、堀切の遺構が確認されます。

『古戦場備中府志』(享保20(1735)年・平川親忠著)によると、黄金山城には尼子の武将・吉田六郎兼久が在城し、銅山の支配に当たったと記載されています。兼久は、永禄6(1563)年に毛利氏との銅山争奪戦で戦死しましたが、その供養塔は吹屋中町の背後の山の墓地に、また、位牌は延命寺に残されています。



黄金山城跡



吉田六郎兼久の墓

高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎ 21-0257